



セネガル国月報

2015年10月
在セネガル大使館



主な出来事

内政

- 13日、国民議会において2015年度常会が開始し、ムスタファ・ニヤス議長が142議員中126人の賛成票を得て再選された。また、議長以下の新事務局員(第1～第8副議長、第1～第6書記ならびに第1及び第2財務担当理事)も選出された。新事務局においてはパリテ法が完全に適用されている。
- カオラックにおいて、宗教指導者ンダオ氏がジハードイストのネットワークとのつながりがあるという疑いで逮捕された。同氏はイスラム国家に対して好意的な説教を行ったことから、警察による電話の盗聴及び尾行が半年行われた末逮捕に至った。また、ダカールにて宗教指導者ンジャイ氏とその妻を含む3名が新たにテロ容疑で逮捕された。女性はアルカイダ組織とつながりがあると見られており、これまで逮捕された者は全員取り調べ中。

外政

- 15日、国連安保理非常任理事国選挙が行われ、セネガルは投票総数190票中187票の賛成票を得て当選した。セネガルの安保理非常任理事国就任は今回が3回目。

経済

- 7日、2016年度予算案が閣議を通過した。予算総額は3兆223億9,800万Fcfで、史上初めて3兆Fcfを上回った。

内政

1 国民議会 2015年度常会の開始

- 13日、国民議会において2015年度常会が開始し、ムスタファ・ニヤス議長が142議員中126人の賛成票を得て再選された。また、議長以下の新事務局員(第1～第8副議長、第1～第6書記ならびに第1及び第2財務担当理事)も選出された。新事務局においてはパリテ法が完全に適用されている(14日 Soleil)。

2 テロ容疑者連続逮捕

- 5日、2日にコルダ州コルダ県コルダ市内のモスクで行われた金曜礼拝の際、反政府的な内容の説教を行ったイマームのイブラヒム・セイが逮捕された。同人はサル大統領及び仏米の両大統領は神を冒瀆する不信心者であると述べた上、セネガル部隊のマリ、ダルフル及びサウジアラビア派遣はイスラムの教えに対する冒瀆であり、兵員らは任務中に死亡するであろう旨述べた。さらに同人は、セネガルのイスラム教団は本来のイスラムの教えにそぐわないものである旨主張した。同人は同市内の高校の地歴教諭で、現在も拘留中(10・11日 Observateur)。

- カオラックにおいて、宗教指導者ンダオ氏がジハーディストのネットワークとのつながりがあるという疑いで逮捕された。同氏はイスラム国家に対して好意的な説教を行ったことから、警察による電話の盗聴及び尾行が半年行われた末逮捕に至った。また、ダカールにて宗教指導者ンジャイ氏とその妻を含む3名が新たにテロ容疑で逮捕された。女性はアルカイダ組織とつながりがあると見られており、これまで逮捕された者は全員取り調べ中(29日 Temoin)。

3 その他

- 13日、ジガンシオール県ジガンシオール市ービニョナ市間の幹線道路上に位置するトゥビ村付近で、武装集団が通行車両約20台から金品を強奪した。被害総額は約1500万 Fcfa に上る(14日 Quotidien)。

外政

- 5日セネガル訪問中のミカエル・ジャン仏語圏国際機関(OIF)事務局長は、サル大統領と会談を行った。同事務局長は4日に地方の視察を行っている(6日 Soleil)。
- 15日、国連安保理非常任理事国選挙が行われ、セネガルは投票総数190票中187票の賛成票を得て当選した。セネガルの安保理非常任理事国就任は今回が3回目(16日 Soleil)。
- 25日から30日にかけて、インドのニューデリーにおいて、第3回インド・アフリカフォーラムが開催され、セネガルからサル大統領が出席した。サル大統領はスピーチで、今後の二国間援助において国の発展と成長の鍵となる農業、インフラ、エネルギー及び情報技術分野に集中して欲しい旨述べた。また、サル大統領は、NEPAD議長として、発展のためのインフラの重要性を強調し、アフリカ・インフラ開発プログラム(PIDA)の活動計画(2014年ー2040年)には680億ドルの資金動員が必要である旨発言した。(30日 Soleil)
- 29日、米国オバマ大統領は、9月に発生したブルキナファソで起きた政治的対立に対するサル大統領の仲介努力に対し感謝の手紙を贈り、今後もサル大統領によるECOWASにおける民主主義と法を遵守した平和的解決を期待する旨述べた(29日 APS)。

経済

- ASPEXの発表によれば、2014年のセネガルの鮮魚輸出は、2013年の1067億 FCFA から2014年は32%増の1416億 FCFA であった。主な輸出先は、コートジボワール(22.4%)、韓国(20.4%)フランス(11.5%) (23日 Sud Quotidien)。
- 7日、2016年度予算案が閣議を通過した。予算総額は3兆223億9,800万 Fcfa で、史上初めて3兆 Fcfa を上回った(8日 Observateur)。

- 20日、ティエスに点滴薬品の製造工場を建設するため、Fonsisは65億FCFAの資金を調達した。西アフリカ開発銀行とUEMOAの共同出資。500mlの点滴薬品を年間1200万個生産し、約70人の地域雇用を生む予定(21日 Quotidien)。
- 22日、ダカールにて、セネガルとアラブ首長国連邦の投資に関する初の合同委員会が開催され、ンジャイセネガル共和国外務・在外セネガル人大臣が出席し、2国間の投資を促進するため、二重課税防止と反脱税に関する合意がなされた(23日 Soleil)。
- 世銀は、27日にジョヌ首相が発表したジュルベル、ンブール、ダカール郊外等の地域を対象とする実施期間5年間の「中間都市における水と衛生プログラム」に対し、7,000万ドル(約400億FCFA)の借款を行う旨を発表した(27日 Soleil)。
- 世銀が各国のビジネス環境の格付けを行うDoing Business2016において、セネガルは3位上昇し153位であり、昨年に引き続き今年も、セネガルは最も改革を遂げた国の上位10か国に入った。今回の格上げ理由となった主な改革は、有限会社設立の手続き簡素化、新規に電気を引く際の手続き簡素化及びデポジット料金の引き下げ、また、所有権移転登記の手数料の10%から5%への引き下げ等(28日 Observateur)。